

流通せぬものが宜しうございますが普通新聞紙の袋が宜しう御座います。

桃。軟かい紙に包みまして静かに保つておくのでございます。果物のうちではこれが一番取り扱ひにくいものでございます。

漬物。澤庵。澤庵を長く貯藏しやうと存じます時は鹽の分量を多くして漬ければなりません。そうして水の入らぬやうに注意することが肝要でございます。

味噌漬。なるべく味噌をかきまはさぬやうにし上を平に致して中のものがあらはれないやうにして置かねばなりません。濡手を入れるやうなことがございます。その爲に味噌の味が變ります。ことがございます。ですから注意しなければなりません。

奈良漬。大體味噌漬と同様な注意を要します。すつぱくなつたりいたしました時は粕に鹽を加へておけば宜しうございます。

糠味噌。水氣の入らぬやうにしなければなりません。から勿論濡手を入るゝやうなことがあつてはなりません。材料を入れます時もよく水氣をきつて入れ鹽をふりかけておく方がよろしうございます。す上に水がたまりました時はすぐ汲み出さなければなりません。けれども茄子のやうなものはやはり糠に相當の水がなければなりません。常に其の上を平にして漬物を出したあとをかき亂しておやうなことの無いやうに注意せねばなりません。

梅干。梅干は充分日光に乾かし器に入れてしまひます時に鹽をふりかけておくのがよろしうございます。

醤油。黴を防ぎますには種々の藥品がございます。そうですけれども公に許されません。から普通の家庭でいたします貯藏法といたしましては一合の醤油に唐がらしを茶匙半杯位入れておけば宜しうございます。又一度煮沸して置きますとよろしうございます。が味が悪くなつていけません。

酢。一度煮沸しておきますと幾年も貯へて置く事が出来腐敗することはございません。けれども氣がぬけて多少味が悪くなります。

酒。これは一度煮沸しておきますと宜しうございます。けれども所謂爛ざましくなりまして味が悪くなります。正宗など瓶入の酒は一度煮沸したものだ。そうでございます。たゞ二三日置きます。くらは瓶に入れて口をかたくして置けばよろしうございます。

## 國民家事標準ノ研究

臨教 原 田 り ん

之ヲ撰ビマシタ目的ヲ申シ上ゲマス。

其一ツハ平素學習シテ居リマス智識ヲ我國民家計ノ實際ニ充テハメテ應用スルト云フ事ト第二ハ

將來家事教員トシテ實際國民家計ノ任ニ當ル子女ヲ教育シテ幾分タリトモ國家經濟ノ爲メニ盡サ  
ウト思ヒマシテ先ヅ其レニハ國民家計ノ實際的研究ヲ必要ト感ジマシテコノ題目ヲ撰ンダノデア  
リマス處ガカウ云フ大袈裟ナ題目ヲ撰ビハ致シマシタモノノイザ實際ニ當ツテ見マスト研究ノ方  
法ガサツバリワカリマセンデ非常ニ困難ヲ感ジマシタ爲メニ一時ハ少カラズ失望致シマシタガ夏  
休ミノ間經濟界ヲ扱ツテ居ル人ヤソレニ關スル役所等テ訪問シテ居リマス内ニ多少興味モ出テ參  
リマシタワケデ休ミ後ニハ各地方カラ多少ノ材料モ集ツテ參リマシタノデコレヲ纏メテ見マシタ  
次第デゴザイマス從來コノ方面ノ研究ハ餘リ見受ケマセンデゴザイマシタケレドモ考ヘテ見マス  
トコノ後私共ノ立場トシテ又今ノ時局ニ對シテモ尤緊急ヲ要スル事ト信ジマス。

研究ノ方法 先ヅ中流商家ヲ撰ビマシタ何レノ時代何レノ國家ニ致シマシテモ國民ノ中堅トナル  
モノハ中産階級ニ屬スルモノデアリマスガ其今日ノ中産階級ト申シマスモノハ一般ニ所得税ヲ納  
メルダケノ資格ヲ持ツテ居ルモノデアリマス最低ノ收入ガ四百圓最高ハ實際シ難ウ御座イマス今  
迄俸給生活ニ對スル方面ノ研究ハ多少調べモツイテ雜誌其他ニヨツテ公表セラレテ居リマシタノ  
デ此度ハ特ニ商家ヲ撰ビマシタ譯デ御座イマスソレ私共ハ先ヅ此中産階級ニ屬スル人ノ實際生  
活ヲ見テ成可ク餘裕アル生活方法ヲ研究シタイト存ジマシタコレニハ成可ク廣クノ材料ヲ得タイ  
ト存ジマシテ夏休ノ折ヲ利用シテ集メテ見マシタコレヲ地方別ニ致シマスト關東デハ栃木東海道

伊勢三河遠江北陸デハ福井中國デハ岡山山口九州デハ福岡長崎北海道デハ函館琉球デハ那覇デ御  
座イマシタコノ集ツテ參リマシタ材料ニヨリマシテ中流商家ノ家計金高ハ最高ハ千圓最低ハ三百  
六十圓ト云フ事ヲ知リマシタ尙平均ヲ取リマスレバ六百九十三圓ト云フモノニナリマス、家計金  
高デアリマスカラ所得稅營業費ヲ控除シタモノコノ金高ガ即中流商家ノ生活費ニ當テナケレバナ  
ラナイ總高デゴザイマスソコデ私共ハコレニヨツテ成可ク理想ニ近クコレヲ案配シテ見タイト努  
力致シマシタノデアリマス。

其前ニ一言御斷リ申シ上ゲテ置キマスガ此材料ニツキマシテモ色々批評ガ起ル事ト思ヒマス一、  
先ヅ多クノ材料ニハ職業ノ相違ガアル事デアリマス二、地方ニヨツテ生活ノ程度ガ違ウト云フ事  
デアリマス三、私共ノ調査シテ參リマシタモノガ或一方ニ偏シテ來ル嫌ガアルダラウトモ思ヒマ  
スデアリマスカラ此批評ノ有ル材料カラ得タ平均數ガ實際ニ全然合ツタモノトハ申サレマセン而  
シ兔ニ前申シ上ゲマシタ地方ニヨリマシテ求メタ平均數デアリマスガ爲メニ實際ニハ却ツテ遠ザ  
カツタカモ知レマセンケレドモ平均數デアリマスガタメ此數字ニハ多少ノ相違ハアリマシテモ實  
際ノモノガ此前後ニアルト云フ事ハ容易ニ考ヘラル、事ト存ジマスソレデコノ標準額ニヨリマシ  
テ家計ノ方法ヲ考ヘル事ニ致シマシタ。

(一)先ヅ此ノ内ノ職業ヲ定メマスニ米穀商ト致シマシタ(二)營業稅ト所得税トヲ控除致シマシタ

残リノ六百九十三圓ガ純粹ノ生活費トナルノデアリマスコノ金高ニヨツテ案配致シマシタモノガ  
即左ノ表デゴザイマス。

| 費目    | 品目           | 金高      | 備考                          |
|-------|--------------|---------|-----------------------------|
| 雜品    | 石 鹼          | 1.750   | 花王 12個 洗濯用六本                |
|       | 曹 達          | .300    |                             |
|       | 齒 磨          | 1.000   |                             |
|       | 楊 子          | .300    | 一打(竹)                       |
|       | 手拭<br>ハンカチーフ | 1.500   | ハンカチーフ一打手拭五本                |
|       | 紙 筆 墨        | .800    |                             |
|       | 絲 針 等        | 1.000   |                             |
|       | 提 灯          | .500    | 修繕                          |
| 合 計   | 9.150        |         |                             |
| 雜     |              | 10.000  |                             |
| 祭祀娛樂  |              | 18.000  | 三大節祭日春秋彼岸五節句<br>干蘭盆家族誕生日遠足等 |
| 義 捐   |              | 2.500   |                             |
| 小 遣   |              | 48.000  | 一ヶ月分主人3.000主婦1.000          |
| 器 具   |              | 3.000   |                             |
| 藥 價   |              | 5.000   |                             |
| 交 際   |              | 50.000  |                             |
| 修 繕   |              | 40.000  |                             |
| 臨 時   |              | 60.000  |                             |
| 豫 備   |              | 24.000  |                             |
| 貯 金   |              | 80.000  |                             |
| 總 合 計 |              | 693.000 |                             |

| 費目  | 品目    | 金高      | 備考  |
|-----|-------|---------|---|
| 賄   | 收 入   | 693.000 |   |
|     | 米     | 116.800 | 一日一人三合五勺平均  |
|     | 魚 肉   | 28.800  | 隔日 .15平均  |
|     | 野 菜   | 36.500  | 一日 .10平均  |
|     | 薪 炭   | 27.000  | 風呂用 5.000(夏ハ融日外ハ<br>一週間二回)<br>竈 用 15.000 外暖房用   |
|     | 電 燈   | 7.200   | 十燭光一ツ勝手用  |
|     | 油     | 2.000   | 燈火用   |
|     | 調 味   | 20.000  | 味噌 醬油 鹽 砂糖 酢  |
|     | 其 他   | 9.870   | 茶及ビ菓子類  |
|     | 合 計   | 248.890 | 一ヶ月一人平均 4.080   |
| 被 服 | 衣 類   | 18.200  | 小供用夏物 2.300 主人用 8.000<br>同前垂二ツ .500 小倉袴 1.200<br>一着<br>帽(小學校用)1.200 女(二年)1.500<br>子(幼稚園用) 袴(一着) |
|     | 足 袋   | 5.100   | 主人用六足 主婦用二足 娘用五足<br>男兒用五足 幼兒用三足   |
|     | 駄 下 傘 | 3.800   | 主人用1.500 主婦用0.25 娘用1.000<br>男兒用 .500 幼兒用0.30  |
|     | 傘     | 2.700   | 番傘二本0.800 蛇目一本1.000 洋傘<br>0.25 三年男兒用0.400 洋傘0.250   |
|     | 其 他   | 12.000  | 裏地小 切棉等衣服寢具ノ洗濯及<br>修理   |
|     | 合 計   | 41.800  |   |
| 教 育 |       | 40.500  | 月 謝16.500 男教科書1.000<br>娘教科書 5.000 兒小遣2.000<br>小 遣12.000 幼兒玩具3.600                               |
| 圖 書 | 新 聞   | 2.160   | 婦女新聞其他營業費ヨリ   |
|     | 雜 誌   | 9.000   | 實業之日本 眞人 少年幼年<br>幼年畫報少女世界   |
|     | 新刊圖書  | 1.000   |   |
|     | 合 計   | 12.160  |   |

大体カラ申シマス。此案ヲ立テルノニ如何ナル處ニ重キヲ置キマシタカト申シマス。先ヅ教育費、賭費、祭祀及娛樂ノ獎勵等デ御座イマシタ。

此家計表ニ付キ日常御習ヒシテ參リマシタ四點即チ教育作法、衛生經濟ノ方面カラ批評シテ見マス。先經濟ノ方面カラ申シマス之レハ中産階級ノ中ニ位スル家計ヲ案配シタモノデ御座イマス。カヲカラ皆サンガ實際ニ此任ニ御當リニナツタラ尙此上ニ消極的ニ節約スル事モ出來レバ積極的ニ餘裕ヲツケル事モ出來ル事ト存ゼラレマス。ソレハ主婦ノ手腕ノ如何ニヨル事ト存ジマス。私共ノ考ヘデ此一家ノ財政カラ節約シ得ラル、モノハ何デ有ウカト申シマス。トタゞ交際費位ノモノデ有リマセウ。此表ニヨリマス。ト毎月四圓餘リトナツテ居リマス。ガ多少ハ少クテス。ム月モ有ロウト存ジマス。カラ若シ剩餘金ガ有ツタトスレバソレハ當然貯金ノ一部トシテ好イモノデ有リマセウ。然シ此交際費ノ節約ト申シマス事ハ非常ニ困難デ有リマセウ、デ此難關ヲウマク繰リヌケテ自己ノ体面ヲ傷ケタリ愧メタリシナイ様ニ十分注意シナケレバナラナイ事ト思ヒマス。ソレニハ先ヅ主婦タルモノガ餘程ノ堅實ノ思想ト貯蓄心ガ無ケレバ出來ナイ事ト思ヒマス。衛生餘裕アル生活トハ單ニ經濟上ノ問題バカリデナク身心ノ壯健ト云フ事モ考ヘナケレバナリマセン。

心身ガ直接經濟上ニ及ボス影響ノ大ナル事ハ勿論デアリマス。ガ競争場裡ニ活動致スモノニシテモ虛弱デ有ツタナラ常ニ劣者ノ位置ニ立タネバナリマス。マイ。

此表ハ既ニ保險食料ニ遠ツテ居リマス。様デスカラ常食トスル米ナドモ衛生上大變效果ノ有ル玄米ヲ半分ダケ用ヒテ居ル事ニ致シマシタ。若シ經濟ノ方法ヲ誤リマシテ賭費ノ節約ナド致シマシタ爲ニ健康ヲ害スル様ナ事ガ有リマシタラモウ駄目デ御座イマス。萬事休スト覺悟シナケレバナリマセン。

### 3、教育作法

前述ノ様ニ子女ノ教育ニハ非常ノ金ヲ置イテ居リマス。例ヘバ表ニ有リマス。年中行事、神佛祭祀、娛樂ノ如キハ只今ノ家庭デハ餘リ行ハレテ居ナイ様デアリマス。ケレドモ其目的ト方法ザヘ宜シキヲ得マシタナラバ教育上ニモ作法上ニモ効果有ル事ト思ヒマス。

ツマリ之レモ之レカラノ家庭ノ理想トシテ望ムトコロデ有リマス。ガ要スルニ主婦タルモノノ頭ヤ手腕ニ須タナケレバナラナイノデ有リマス。

之レニヨリマス。ト今日ノ中等商家ノ家計ハ健全ナ家計ト云フ理想カラ考ヘマス。ト隨分不足勝デアリマス。ソレデ一面カラハ積極的ニ家ノ收入ヲ豊富ニスル事ヲ考ヘナケレバナリセン。ガ消極的ニ消費經濟ニアツカル主婦トシテハ出來ルダケ節約シテ最モ有効ノ結果ヲ得ル様ニ努力シナケレバナリマセン。ソシテ出來ルナラバ積極的ノ結果ヲモ納メル様ニ心掛ケナケレバナリマセン。又私等ノ立場トシテ將來ノ家事教員トシテ此理想ヲ經驗ノ淺イ若イ子女ニ徹底スル様ニ教育シマシテ尙進ン

デ家事ノ事情ニ應ジテ種々ノ方法ヲ工夫スル様ノカヲ與ヘル事が出來ルカト云フ事ニ付テハ眞面目ニ研究シナケレバナラナイ事ト考ヘマス甚ダ粗雜デ有リマシタケレド研究ノ結果ヲ報告致シマシテ皆様ノ御批評ヲ仰ギ度イト存ジマス。

### 水飴に就いて

技三 池内ヨシエ  
 濤崎キス  
 田口フミ  
 野上喜美子

#### 一、飴の由來

飴は昔から我國に有つたもので神武紀の記載するところによれば神武天皇東征にあたり八十梟師を征せらるゝ時天皇丹生の川上にいたり給ひて天神地祇を祭り祈り給ふて曰く「我れ今當に八十平瓮を以て水無くして飴を造らん、飴成らば即ち吾れ必ず鋒刀の威を假らずして座ながら天下を平げん」と乃ち飴自から成るとあるのによつても其の起原の如何に古いかわかる。

#### 二、飴製造

##### 1、原料

飴を造る原料を分ちて次の如くにする。

(い) 澱粉原料

(ろ) 糖化素原料 麥芽 米麴

は仕込水

澱粉原料として、用ひられる普通のもものは糯米、粳米、外國米、糯粟等であつて稀れには、甘藷、麥、玉蜀黍、馬鈴薯なども用ひられる。

糖化素原料として昔は専ら米麴を用ひたけども現今は主に麥芽を用ふる。依つて左に麥芽製法の概略を述べやう。

先づ大麥をよく洗ひ、これを水に浸すこと一晝夜乃至三晝夜で其の間一晝夜に三四回換水し(夏期はことに度々する)時々攪拌して腐敗を防ぎ且つ水中の遊離酸素の供給を充分にする。かやうにして其の麥粒が膨大し柔軟となり穀粒を示指と拇指との間に縦に置いてこれを壓すに刺す様な抵抗を覺えないで潰れ殻と粉體と剝離するを適度とする。又は粉體を木片上に擦過するに白堊狀の擦痕を止むるを以て適度とする。實驗によれば吸収させるべき適度量の水は大麥の重量の二分の一内外であると言ふ。かくして其の大麥を取り出し清洗しあまり温度